# WBS-2.3.1 用紙依頼入力詳細設計

# 1) 概要

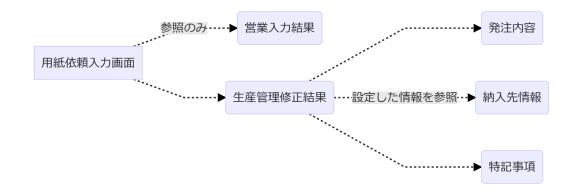
### システムフロー(画面遷移図)



#### 画面概要



用紙依頼入力画面は、営業入力結果と生産管理修正結果の2つ種類情報を表示します。生産管理修正情報ですが、発注内容と納入先情報を含めます。そして、依頼先への特記事項も設定 できます。



営業の方が受注入力画面(fCP0004)と折入力画面(fCP0005)に設定した用紙関連情報を営業入力結果に表示されます。<del>ここで普通、折単位で情報を表示しますが、もしかしたら、折帽報からデータを取得できない場合、受注情報からデータを取得します。</del>

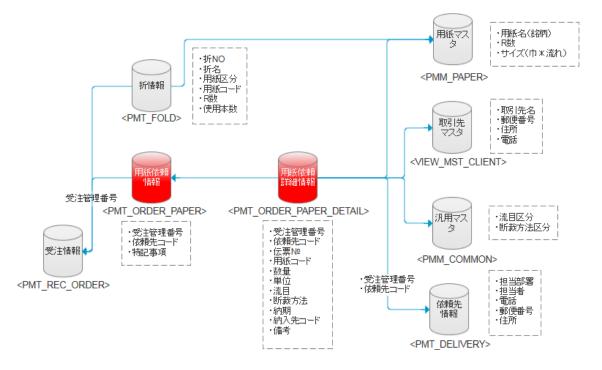
生産管理の方が上記の営業入力結果情報を参照してから、用紙銘柄単位で依頼情報を設定します。<mark>用紙銘柄毎に複数の納入先が存在することをご注意ください。</mark>



## 銘柄(めいがら)とは

①ブランドのこと

②証券取引所に上場している株式の企業名のこと(株式銘柄)



# 2) I/O関係定義

### 2.1 共通エリア

# イメージ



### UI定義

順番	項目名	属性	ReadOnly	データ元	仕様	
1-1	年度	テキスト	0		前画面から渡す年度	
1-2	題名	テキスト	0		前画面から渡す題名	
1-3	号数	テキスト	0		前画面から渡す号数	
1-4	受注管理番号	テキスト	0		前画面から渡す受注管理番号	
1-5	発注先	コンボボックス	0	・依頼先情報.依頼先コード・ VIEW_MST_CLIENT.CLIENT_NAME	・用紙依頼先である会社名でバインディング・ 選択されたアイテムがしたら、生産管理結果エリアを切替	
1-6	参照モードラベル	ラベル	0		排他処理で制御	

### <u>発注先取得SQL</u>

 ${\tt SELECT~C.CLIENT\_CODE,C.CLIENT\_NAME}$ 

FROM

PMT\_DELIVERY D,VIEW\_MST\_CLIENT C

WHERE D.REC\_ORDER\_SEQ\_NO=:受注管理番号

AND D.DATA\_DIV <> '1' AND D.DELIVERY\_DIV\_PAPER = '1'

 ${\tt AND~C.CLIENT\_CODE=D.DELIVERY\_COMPANY\_CD}$ 

# 2.2 営業入力結果エリア

### イメージ



# UI定義

項番	項目名	属性	ReadOnly	データ元	仕様
2-1	最終更新日	ラベル	0	PMT_FOLD.LAST_DATE	折情報の最終更新日をソートしてから、一番大きい日付になる情報より、 YYYY/MM/DDの形式で印字
2-2	最終更新担当者	ラベル	0	PMT_FOLD.LAST_USER_CD	折情報の最終更新日をソートしてから、一番大きい日付になる情報より、 担当者名を印字
2-3	折名	テキスト	0	PMT_FOLD.FOLD_NAME	

2-4	用紙区分	コンボボックス	0	PMT_FOLD.PAPER_DIV_CD	用紙区分CDで汎用マスタより用紙区分を取得してから、印字
2-5	用紙名	テキスト	0	PMT_FOLD.PAPER_NAME	
2-6	代理店	テキスト	0	PMT_FOLD.PAPER_CD	折情報の用紙コードで用紙マスタより代理店名を取得してから、印字
2-7	サイズ	テキスト	0	PMT_FOLD.PAPER_SIZE	
2-8	使用本数	テキスト	0	PMT_FOLD.USE_NUM	
2-9	指定連数	テキスト	0	PMT_FOLD.SPECIFY_ROLL	
2- 10	過不足	テキスト	0	PMT_FOLD.REMAINDER_NUM	

### 用紙区分取得SQL

SELECT C.CD,C.VALUE1 FROM PMM\_COMMON C WHERE C.CD\_NO='0020'
AND C.CD<>'!!!!'

### 2.3 生産管理修正エリア

### イメージ



## UI定義

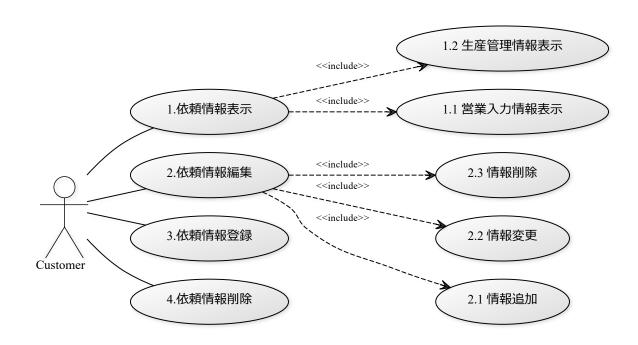
項番	項目名	属性	ReadOnly	データ元	仕様
3-1	最終更新日	ラベル	0	PMT_PAPER_ORDER.LAST_DATE	用紙依頼情報の最終更新日をソートしてから、 一番大きい日付になる情報より、 YYYY/MM/DDの形式で印字 初期値:空白
3-2	最終更新担当者	ラベル	0	PMT_PAPER_ORDER.LAST_USER_CD	上記のレコードより、ユーザー名を表示 初期値: 空白
3-3	伝票NO	テキスト	0	PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_DETAIL_NO	入力順位で1から連番で設定
3-4	用紙名	コンボボックス		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_CD	用紙マスタより用紙名を取得してから、バンディング 初期値:空白
3-5	寸法	テキスト		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_CD	用紙コードで用紙マスタより巾と横を取得してから、 中横の形式で印字 初期値:空白 用紙名を設定したら、指定された用紙情報より、 中横を設定します。
3-6	流目	コンボボックス		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_GRAIN	汎用マスタより流目区分を取得してから、 バンディング
3-7	連量	テキスト		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_CD	用紙コードで用紙マスタよりR数を取得してから、 印字 初期値:空白,用紙名を設定したら、 指定された用紙情報より、R数を設定します。
3-8	数量	テキスト		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_MOUNT	コンマ編集
3-9	単位	テキスト		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_UNIT	
3- 10	断裁	コンボボックス		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_CUTTING_METHOD	汎用マスタより断裁方法を取得してから、 バンディング
3-11	納期	日付		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_DELIVERY_DATE	「YY/MM/DD」の形式で表示
3- 12	納入先	コンボボックス		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_DELIEVERY_CD	依頼先情報より、 納入先区分が印刷である会社名を取得してから、 バンディング
3- 13	備考	テキスト		PMT_ORDER_PAPER_DETAIL.PAPER_ORDER_COMMENT	

※用紙名を選択されたら、3-5、3-7も自動的に設定します。ただし、3-5、3-7の値が空白以外の場合、設定しません。

編集されたセルがValidatedイベントで下記のエラーチェックを行います。

- ・長さチェック(テキスト項目のみ)
- ・必須チェック(用紙名、納期、納入先)

# 3) 使用シナリオ



[https://yuml.me/diagram/scruffy/usecase/draw]

[Customer]-(1. 依頼情報表示)

- (1. 依頼情報表示)>(1.3 生産管理修正結果取得)
- (1. 依頼情報表示)>(1.2 営業入力結果取得)
- (1. 依頼情報表示)>(1.1 排他処理)
- [Customer]-(2. 依頼情報編集)
- (2. 依頼情報編集)>(2.1 情報追加)
- (2. 依頼情報編集)>(2.2 情報変更)
- (2. 依頼情報編集)>(2.3 情報削除) [Customer]-(3. 依頼情報保存)

### 3.1 依頼情報表示

受注入力画面(fCP0004)で、「設計(生産管理)」ボタンを押したら、発注先設計画面に遷移します。

画面開くと、下記のフローで処理します。



# 排他処理

他の画面と同じ、画面IDと受注管理番号でロックを追加します。

排他処理が失敗である場合、「1-6 参照モードラベル」を表示になり、「登録」ボタンも押せないように制御します。

## 発注先リストバンディング

依頼先情報より、納入先区分が用紙である、有効なレコード取得し、発注先リストへバンディングします。

DisplayMember = 取引先名(依頼先コードでVIEW\_MST\_CLIENTから取得) ValueMember = 依頼先コード

## 営業入力結果取得

画面表示処理で指定受注管理番号と関連する有効な折情報より、用紙情報を取得します。折情報にはMAX5つの用紙情報が存在しますから、ご注意ください。

### 生産管理修正結果取得

初期登録者、登録部署、登録日時、最終更新者、更新部署、更新日時も取得します。

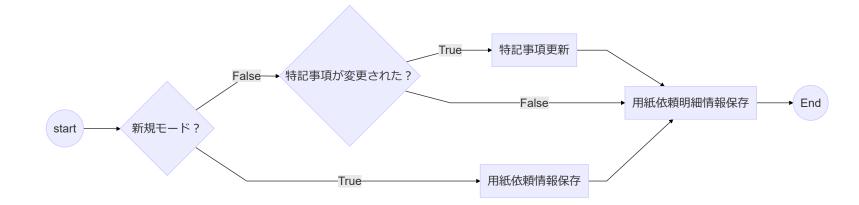
### 3.2 依頼情報編集

ユーザーが営業入力結果を参照しながら、銘柄・納入先毎に、用紙依頼情報を設定します。 設定した情報を一時メモリに格納しております。

- 「行挿入」を押したら、選択状態になる行の直前に行を追加します。
- 「行追加」を押したら、明細部の最後に行を追加します。
- 「行削除」を押したら、選択状態になる行を削除します。

### 3.3 依頼情報登録

Tab切替&「登録」ボタンを押した場合、もし変更があれば、依頼情報の登録を発生します。(参照モード以外)編集した生産管理修正情報を下記のフォローでDBへ保存します。



### 新規モード

「3.1 依頼情報表示」処理には、もし生産管理修正結果情報が0件であれば、新規モードと見なします。

#### 用紙依頼明細情報保存

- ①先に既存のデータを削除します。
- ②画面から渡す用紙依頼明細情報を最終更新者と最終更新日時を一括修正します。
- ③修正した結果をDBに挿入します。

### 3.4 依頼情報削除

略

納入依頼タブを押したら、依頼先入力画面へ遷移します。 この画面で、生産管理修正結果から選択した依頼先情報を削除します。

# 4) データマッピング

## 4.1 用紙依頼情報

【PMT\_ORDER\_PAPER】マッピング

No	フィールド名称	フィールドロ	内容
1	受注管理番号	REC_ORDER_SEQ_NO	共通エリアの受注管理番号
2	依頼先コード	DELIVERY_COMPANY_CD	発注リストに選択された会社CD
3	用紙依頼特記事項	PAPER_ORDER_MEMO	生産管理エリアの「特記事項」
4	データ区分	DATA_DIV	「0」を固定設定
5	初期登録日時	FIRST_DATE	用紙依頼情報の初期登録日時を設定
6	初期登録者部門CD	FIRST_DEPT_CD	用紙依頼情報の初期登録者部門CDを設定
7	初期登録者CD	FIRST_USER_CD	用紙依頼情報の初期登録者CDを設定
8	最終更新日時	LAST_DATE	Sysdate
9	最終更新者部門CD	LAST_DEPT_CD	ログインしているユーザの部署CD
10	最終更新者CD	LAST_USER_CD	ログインしているユーザCD

### 4.2 用紙依頼詳細情報

【PMT\_ORDER\_PAPER\_DETAIL】マッピング

No	フィールド名称	フィールドID	内容
1	受注管理番号	REC_ORDER_SEQ_NO	共通エリアの受注管理番号
2	依頼先コード	DELIVERY_COMPANY_CD	発注リストに選択された会社CD
3	用紙依頼伝票no	PAPER_ORDER_DETAIL_NO	1から連番設定
4	用紙コード	PAPER_CD	生産管理エリアの「用紙名」リストのValue
5	用紙依頼数量	PAPER_ORDER_MOUNT	生産管理エリアの「数量」
6	用紙依頼単位	PAPER_ORDER_UNIT	生産管理エリアの「単位」
7	用紙依頼流目	PAPER_ORDER_GRAIN	生産管理エリアの「流目」のValue
8	用紙依頼断裁方法	PAPER_ORDER_CUTTING_METHOD	生産管理エリアの「断裁」のValue
9	用紙依頼納期	PAPER_ORDER_DELIVERY_DATE	生産管理エリアの「納期」のValue
10	用紙依頼納入先コード	PAPER_ORDER_DELIEVERY_CD	生産管理エリアの「納入先」のValue
11	用紙依頼備考	PAPER_ORDER_COMMENT	生産管理エリアの「備考」
12	データ区分	DATA_DIV	「0」を固定設定
13	初期登録日時	FIRST_DATE	用紙依頼情報の初期登録日時を設定
14	初期登録者部門CD	FIRST_DEPT_CD	用紙依頼情報の初期登録者部門CDを設定
15	初期登録者CD	FIRST_USER_CD	用紙依頼情報の初期登録者CDを設定
16	最終更新日時	LAST_DATE	Sysdate
17	最終更新者部門CD	LAST_DEPT_CD	ログインしているユーザの部署CD
18	最終更新者CD	LAST_USER_CD	ログインしているユーザCD